

巨匠ゲルバー 80歳記念 最後の来日

— 魂のベートーヴェン「月光」「ワルトシュタイン」 —

ベートーヴェン：

ピアノ・ソナタ 第14番 嬰ハ短調 op.27-2 「月光」

Beethoven: Piano Sonata No.14 in C sharp minor, op.27-2, "Moonlight"

ピアノ・ソナタ 第21番 ハ長調 op.53 「ワルトシュタイン」

Piano Sonata No.21 in C major, op.53, "Waldstein"

ブラームス：

3つの間奏曲 op.117より 第1曲 変ホ長調、第2曲 変ロ短調

Brahms: Intermezzo No.1 in E flat major and No.2 in B flat minor, from op.117

ショパン：

アンダンテ・スピアナートと

華麗なる大ポロネーズ 変ホ長調 op.22

Chopin: Andante spianato and Grande polonaise brillante in E flat major, op.22

ブルジョワレオナルド・ゲルバー

Burns Leonardo Gelber Piano Recital

ピアノ・リサイタル

20世紀の最も偉大な百人のピアニストの一人 (仏メディアパソン誌)

© Piano à Lyon

2021 4/3 (土) 2:00PM開演 (1:00PM開場)

A 4,000円 B 3,000円 C 2,000円 D 1,000円 (全席指定/消費税込)

ご予約・お問合せ 芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255 (10:00AM-5:00PM 月曜休み ※祝日の場合翌日)

兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札口西側/JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

※未就学児童はご入場いただけません。



兵庫県立
芸術文化センター

文化力
POWER OF
CULTURE

発売日 2/21	チケット 取扱	● 芸術文化センター 0798-68-0255 http://www.gcenter-hyogo.jp 芸術文化センター2階総合カウンター【2/23(火)より、残席がある場合のみ】 ● チケットぴあ http://pia.jp/t/ ● ローソンチケット http://l-tike.com ● イープラス http://eplus.jp
-------------	------------	---

<チケットご購入のお客様へお願い> 新型コロナウイルス感染予防対策にご協力をお願いします。

※芸術文化センターでの販売は、来場者情報把握のため、先行予約会員(無料)へのご登録をお願いしております。チケットのご購入はお一人様2枚までとさせていただきます。※入場者数を制限して販売する場合があります。※プレイガイドでの販売はインターネットのみとさせていただきます。取扱いについては各プレイガイドにお問合せください。※37.5℃以上の発熱がある方は入場をお断りさせていただきます。※マスクを着用されない方はご入場いただけません。(マウスシールド不可)※感染の再拡大等により、公演の中止や、公演内容、座席配置等が変更となる場合がございます。主催：兵庫県、兵庫県立芸術文化センター

ご来場前にウェブサイト掲載の(当センターをご利用のお客様へ)をご確認いただけますようお願いいたします



歴史に残るピアニスト 輝かしい軌跡に思いを馳せて

研ぎ澄まされた感性、独特の存在感。

20世紀最大のピアニストの一人に数えられるゲルバー。同郷で同世代のアルゲリッチと並び、アルゼンチンを代表する天才として、若くしてヨーロッパで一世を風靡し、世界各地で喝采を浴びてきた。それから半世紀以上、華々しい演奏活動の中でも真摯に音楽を追究し続けてきた巨匠もいよいよ80歳。最後の来日ツアーを迎えることとなる。

記念すべきリサイタル。プログラムの前半に選んだのは、やはり彼が最も敬愛する作曲家ベートーヴェンの名ソナタだ。そして後半はベートーヴェンの精神を引き継ぐブラームスのロマンティックな間奏曲と、ショパンの華麗なポロネーズ。大ピアニストの奏でる一音一音、そして彼の音楽の中にある無上の喜びを、しかと耳に焼き付けたい。

Bruno Leonardo Gelber

ブルーノ＝レオナルド・ゲルバー [ピアノ]

Bruno Leonardo Gelber, Piano

現代を代表する世界的ピアニストのひとり。オーストリア、フランス、イタリアの血を引く音楽家の両親のもとアルゼンチンに生まれ、5歳でアルゼンチンでの初めての演奏会を行う。6歳で名教師スカラムツァに師事。翌年ゲルバーは重い小児麻痺にかかり、1年以上寝たきりの生活を送ったが、両親はベッドの上でも弾けるようにピアノを改造、練習を続けた。

15歳の時、マゼール指揮でシューマンの協奏曲を演奏。19歳でフランス政府の奨学金を得てパリに留学。演奏を聴いたマルグリット・ロンは「あなたは私の最後の、しかし最高の生徒になるでしょう」と語り、1961年のロン＝ティボー国際コンクール第3位入賞時には、彼こそ優勝にふさわしいとする聴衆とマスコミの間で大いに物議を醸した。

それ以後、華々しい活動を展開し、世界の主要都市でリサイタルを開催すると共にベルリン・フィル、パリ管、ロンドン響、ニューヨーク・フィルなど主要なオーケストラにも数多く招かれ続けている。日本には1968年に初来日して以来、しばしば来日しており、2018年には日本初来日から数えて50周年を記念するツアーを行い健在ぶりを示した。

今回のツアーは80歳記念ツアーとなる。

フランスのディアパソン誌は、ブルーノ・レオナルド・ゲルバーを20世紀の最も偉大な百人のピアニストの一人に選んでいる。



<http://www.gcenter-hyogo.jp>

兵庫県立芸術文化センター
Hyogo Performing Arts Center

先行予約会員募集中!

詳しくは、<http://www.gcenter-hyogo.jp>

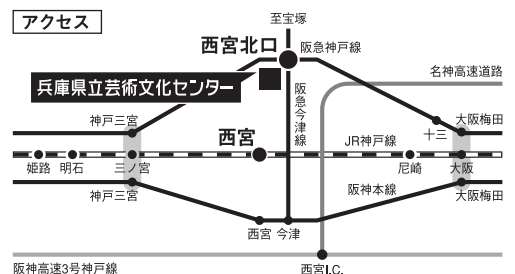
便利なアクセス!!

大阪梅田からも神戸三宮からも
ホールまで15分
(阪急電車特急乗車の場合)

◎阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)

◎JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。



©Taku Miyamoto